

「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」のこれまでとこれから

What's “イチオシ本”

埼玉県の高校司書の投票で「高校生に読んでほしい」本の年間ベスト10を発表！ 埼玉県の高校司書の有志団体「埼玉県高校図書館フェスティバル実行委員会」が主催しています。

投票の対象

直近1年間の新刊本（ジャンル不問）

投票できる人

埼玉県内の高校に勤める学校司書または司書教諭

始まった時期

2010年が初回。今年で9年目を迎えます

学校司書ならではのインテリジェンス目！

2017年度には103名が投票！

“イチオシ本”のはじまり

埼玉県では、一部の特別支援学校を除き、すべての公立高校に専任・専門・正規の形で学校司書が配置されています。ところが、2000年になると司書採用試験が中断。臨時的任用者によって欠員を埋めるようになってしまいました。

学校司書の必要性を知ってほしい！

2011年、埼玉県高校図書館フェスティバルというイベントを有志の手でスタート。「人」のいる学校図書館の楽しさを発信しました。

埼玉県高校図書館フェスティバル

2012年に司書採用試験が復活！

埼玉県高校図書館フェスティバルは2013年をもって、いったん幕を下ろしましたが、好評を得たイチオシ本は、学校司書の仕事をアピールしていくため、いろいろな「つながり」を生み出すために現在まで続いています。

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本は、このイベントで行われた企画の内のひとつです。第1回イチオシ本の1位は「世界で一番美しい元素図鑑」（セオドア・グレイ、創元社）、小説以外の本が1位になったのは驚きました。学校司書ならではの「選書」です。

各校の学校司書と

学校司書は一人職種。同じ仕事をしている同僚は、職場内に居ないのがふつうです。そんな学校司書たちが「高校生におすすめしたい本」をみんなで選ぶことで、他の学校司書の「選書」を知るとともに交流を育む。「イチオシ本」という取り組みは、そんな「つながり」を生み出すきっかけにもなっています。そんな風に、学校司書同士が互いに支えあい、学びあうことで、「なかみ面白い本ない？」という声にも自信をもって応えられる学校司書になっていくのです。

本をつくる人たちと

ベスト10にランクインした本は、出版社にメールや電話でご連絡。著者や担当編集者の方から高校生に向けたコメントを寄せてもらい、パンフレットやPOPを作っています。これらのパンフレットやPOPはホームページで公開していますので、販促や展示等に、誰でも使うことができます。また、1位になった本の著者や担当編集者の方には、発表動画への出演なども協力いただいています。



私たち学校司書は専門職として、日々、選書の眼を養います。生徒の興味関心や社会情勢にもアンテナを張り巡らせて面白い本はないか、常に眼を光らせています。ときには生徒や教職員からのリクエストで、思いがけない面白い本に出会うこともあります。「いまの本、いま」の高校生をよく知っている学校司書が、熱い思いをもって投票するイチオシ本は、小説・実用書・新書などが入り混じり、まさしく、「いま、高校生に読んでほしい本」が反映されているのです。

2月の発表日にタイミングを合わせて、埼玉県内の書店や公共図書館で、いっせいに「イチオシ本フェア」が開催されます。その数なんと書店53店舗、公共図書館60館。（2017年）販促や展示のために、パンフレットやPOPといった販促素材を実行委員会から無料で提供。毎年テレビや埼玉新聞、また各紙の地方版などでも、「イチオシ本フェア」を取り上げていただいています。イチオシ本は、地域全体とつながって、埼玉県の読書を盛り上げていくのです。

生徒や教職員と

地域の書店や公共図書館と

“イチオシ本”のこれから

まだまだ続きます！

イチオシ本は2019年で10周年！10周年記念企画として、公式キャラクターを制作中！？

イベント再び！？

埼玉県高校図書館フェスティバルが復活するかも！？イチオシ本だけでは伝えきれない、高校図書館の様々な魅力をお届けするべく、たぐいまれな観覧帳です！



“イチオシ本2018”について

イチオシ本2018は、2019年2月15日（金）発表予定

YouTubeにてランキング発表動画を公開

1位になった本の著者や担当編集者が出演するかも！？

当日限定のプレゼント企画も計画中です。

埼玉県内の書店・公共図書館でフェアを開催

2月16日（土）から、「イチオシ本2018」フェアを開催！イチオシ本の特設コーナーが県内各所に出展し、パンフレットも配布されます。

最新情報はHPをご覧ください

